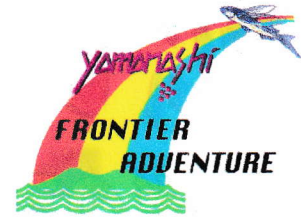


# 八丈島・でっかい体験 2022

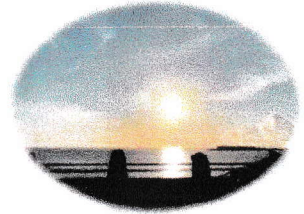
## フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」 参加者募集



♪♪ 僕たちは 忘れない あの日々を ♪♪  
仲間とすごした 八丈の夏

水族館の中を泳いでいるような八丈の海でのスノーケリング。  
仲間と助け合いながら 自分たちの計画で 島内を歩く八丈チャレンジウォーク。  
満天の星を眺めながら 青天井で眠るピバーク。  
八丈島中学生との交流 漁船に乗ってのクルージング……。

やまなしとは違った自然環境の中で、  
県内各地から集まった仲間と過ごす7泊8日は **感動体験の連続**。  
この「**でっかい体験**」に参加して 忘れられない思い出の夏を作ろう。  
きっと 新しい自分に出会える はず。  
あなたの人生を変える夏になる かも……。



1 目的 八丈島の豊かな自然の中でのさまざまな自然体験活動を通し、友情・連帯・奉仕の精神を育てるとともに、地域リーダーとしての資質向上を図る。

2 期日	・事前説明会 6月19日(日)	午後	ことぶき勤学院
及び場所	・事前研修会 7月 2日(土)・ 3日(日)	2日	やまなしプラザ・県立青少年センター
	・現地研修 8月 1日(月)～ 8日(月)	7泊8日	東京都八丈島
	・事後研修会 8月17日(水)	1日	県立八ヶ岳少年自然の家

※感染症拡大状況により現地研修の実施が難しい場合、下記「代替プログラム」を実施する

・事前説明会 7月 2日(土)	1日	生涯学習推進センター
・オンライン研修 8月 3日(水) ※八丈町との交流会	1日	生涯学習推進センター
・県内研修 8月16日(火)～17日(水)	1泊2日	県立八ヶ岳少年自然の家

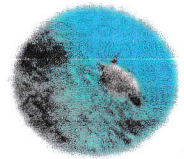
3 参加者の条件 (1) 心身ともに健康であること (2) リーダーとしての資質があること  
(3) 約100メートル泳げること (4) 校長先生の推薦がいただけること  
(青少年育成関係団体長・市町村等の教育長の推薦でも可)  
(5) 今までにこの事業に参加したことがないこと  
(6) **事前説明会までに、2回の新型コロナウイルスワクチン接種**を終えていること  
(7) **代替プログラムとなった場合も参加すること**

4 募集人数 **28人(男女各14人)** ※山梨県在住の中学生

5 申込締切 **令和4年 5月16日(月)**  
(中学校から市町村教育委員会への申し込み締切)  
※参加希望者は、申込締切りより前に中学校へ申込書を提出してください。



6 その他 ・参加者負担金は、**59,000円**です。  
※悪天候による延泊、新型コロナウイルス感染症に関わる状況等への対応により、追加負担が生じる場合があります。  
・応募者が**24名**に満たない場合は、本事業は実施しません。  
・応募者が募集人数を上回った場合は、**実行委員会にて抽選**により参加内定者を決定します。  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各地区における公開抽選会は実施しません。  
※参加希望いただいても、抽選にもれる可能性があることを御理解の上、お申し込みください。  
・抽選の結果は、事務局より各自に送付します。  
・感染症の状況等により、現在計画しているプログラム(代替プログラム含む)は、予告なく変更する場合があります。



詳しくは、学校にある募集要項をご覧ください。



# 八丈島で、でっかい体験してきました!!

～参加者の声～



## ＜参考＞

○研修日程 【参加者：中学生49名】

研修名	おもな研修内容
事前研修会 7月20日(やまなしアザ)	○事業のねらいの理解 ○八丈島の自然、風土、産業等の学習
7月21日(青少年セカ)	○班編制、役割分担、研修テーマ等の決定
現地研修 8月1日 ～8月9日	○自然体験活動(キャンプ生活・自然観察・スノーケリング等) ○八丈島小中学生との交流 ○サバイバル踏破(班ごと島内一周)
八丈島垂戸	○八丈島の産業、文化、歴史的遺産の学習 ○漁船体験
事後研修会 8月19日	○潮流、魚介類の生態観察 ○環境を考える ○自主企画活動
八ヶ岳少年自然の家	○研修のまとめ ○八丈島小中学生との再交流 ○「海洋道中友の会」結成



## ○参加者の感想

「感謝」は、団長がおっしゃっていましたが、9日間の大きなテーマとなりました。また、僕たちの班でも、「感謝」は大きなテーマとして、班全員で考える機会がありました。サバイバル踏破初日、「ありがとう」という声がいささか小さくて、手を貸してくれた仲間に感謝の気持ちが伝わらなかったというできごとがありました。そのあとの休憩時間で、「感謝」や「敬意」について、時間をかけて班のメンバー全員で考えました。「感謝」する気持ちを持つこと、その気持ちを伝えることが大切だと、実感しました。「やまなし少年海洋道中」に参加することができたのも、両親、先生方、指導者・V.L、そしてこの事業に関わってくださっている多くの皆さんのおかげです。感謝しています。



班全員が笑顔でゴールできたときは、本当に嬉しくて涙が出ました。この踏破を通して、「相手の気持ちを考える」「班長として、一人一人の気持ちを考える」「同じ目標を持つことで乗り越えられる」ことの大切さを感じることができました。同時に、集団行動の難しさも感じることもできました。今回、八丈島で過ごした時間の中には、楽しい時間も、悩んだ時間もありました。考え方が違う友達と過ごすなかで、「どうすれば上手くいくのか、解決できるのか」など、考えることの大切さを学ぶことができたと思います。あっという間の9日間でした。



みんなで過ごしたこの時間は、一生の宝物となりました。新しい発見やおどろきもありました。そして、大切な友達もたくさん作ることができました。八丈島の自然の中で、私は大きく成長することができました。辛いことなどがあっても、八丈島で過ごした日々仲間と一緒にゴールした50kmのことを忘れずに、これからの生活を過ごしていきたいです。そして今度は、ボランティアリーダーとして、八丈島に行きたいと思っています。



もし興味を持った人は、ぜひ「やまなし少年海洋道中」へ参加してください!

あなただけのでっかい体験が待っています。